平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	就職講座 (Job Hunting Course)			授業コード	A029501
担当教員名	稲富　丈夫、園田　一則、郡　弘文、森田　和子、坪倉　篤志、園田　圭介、舛田　佳弘、泉　丙完、松永　多苗子			科目ナンバリングコード	A20207
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	就職に必要な科目なので、必ず受講して下さい。				
受講心得	講堂での多数の学生が受講する授業になりますので、私語を慎み、他の学生の勉学の妨げにならないようにしてください。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	特にありませんが、一般常識やSPIの問題集を参考にしてください。				
関連科目	就職活動実践講座(3年後期)				

授業の目的	基礎学力のうち企業就職試験で行われる筆記試験の一般常識およびSPI、作文力を身につけて就職活動に備えます。
授業の概要	就職試験では、通常、筆記試験での基礎学力確認と、面接試験による人物評価が行われます。 筆記試験では、一般常識、課題を与えられての作文、SPI、専門科目がありますが、企業により、これらの中の組み合わせの試験が行われます。 この講義では、筆記試験のうち、多くの企業が行う一般常識とSPI、論作文について学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 就職講座概要説明および一般常識テスト① 講座の概略および今後の就職活動について学びます。 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行い、今後の勉学に役立ててください。	
第 2 週 ： 一般常識テスト② 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行し、今後の勉学に役立ててください。	一般常識宿題あり(1h・1h)
第 3 週 ： 一般常識テスト③ 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行し、今後の勉学に役立ててください。	一般常識宿題あり(1h・1h)
第 4 週 ： 一般常識のテスト④ 一般常識のテスト形式の課題を行い、解答・解説講義で学びながら自己採点を行し今後の勉学に役立ててください。	一般常識宿題あり(1h・1h)
第 5 週 ： 一般常識テスト⑤ （実力確認テスト） 一般常識の実力確認テストを行い、自身の立ち位置を確認します。 なお、この試験は無料ですが、求人情報サイトへの登録が必要です。登録は当日行います。	
第 6 週 ： SPI対策① 言語分野(国語分野)のSPI対策を実施します。	SPI(国語分野)宿題あり(1h・1h)
第 7 週 ： 論作文① 文章の書き方、論作文の作成方法について説明を受けた後、実際に作文を書きます。	
第 8 週 ： SPI対策②	

非言語分野（数学分野）のSPI対策を実施します。	SPI（数学分野）宿題あり（1h・1h）
第 9 週 ： SPI対策③ 非言語分野（数学分野）のSPI対策を実施します。	SPI（数学分野）宿題あり（1h・1h）
第10週： SPI対策④ 非言語分野（数学分野）のSPI対策を実施します。	SPI（数学分野）宿題あり（1h・1h）
第11週： SPI対策⑤ 非言語分野（数学分野）のSPI対策を実施します。	SPI（数学分野）宿題あり（1h・1h）
第12週： SPI対策⑥ 非言語分野（数学分野）のSPI対策を実施します。	SPI（数学分野）宿題あり（1h・1h）
第13週： SPI対策⑦ 非言語分野（数学分野）のSPI対策を実施します。	SPI（数学分野）宿題あり（1h・1h）
第14週： SPI対策⑧　実力確認テスト SPIの実力確認テストを行い、自身の立ち位置を確認します。 なお、この試験は有償です。受験費用を当日の実施後に徴収しますので持参して下さい。	受験費用：1200円
第15週： 論作文② 論作文の作成を練習します。	
第16週： 期末試験 一般常識およびSPIについての試験を行います。 弱点等を見極め今後の活動に役立ててください。	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	①大学生卒業生としての一般常識を持つ。 ②与えられたテーマについて論作文が短時間で書ける。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**40点**	**15点（減点法）**	

【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**40点**		
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		**5点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 （提出物）	《試　験》 試験は200点満点で実施し、40点に換算します。 《提出物》 授業ごとの提出物は4点満点（計40点）として評価します。 作文はA～E判定を実施し、5点満点として評価します。 ただし、提出物は埋めるべき事柄が全て満たされていないと評価対象にしません。
発表・その他 （無形成果）	出席点は減点法で算出します。全出席を15点満点として、1回の欠席当たり3点を、遅刻は1点を減じます。なお、出席点がマイナス値となった場合は0点とします。